



ご利用規則 宿泊約款

Use Regulations, Terms and Conditions
for Accommodation Contracts





ホテルグランヴィア京都利用規則

ホテルの公共性と安全性を確保するため、当ホテルをご利用のお客様は、当ホテルが別に定める宿泊約款第 10 条に基づく利用規則の規定を履行し、かつ遵守していただきます。

この規則を遵守していただけない場合は、当ホテルのご利用をお断り申し上げ、当ホテルが被った損害のご負担を頂くこともございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

記

1 遵守していただく禁止事項

- (1) 客室を当ホテルが許可する場合を除いて、宿泊以外の目的に使用すること。
- (2) 廊下及び客室内で暖房用、炊事用などの火気を使用すること。
- (3) 近くに可燃性の物品があるなど、火災の発生しやすい場所や原因となりやすい方法で喫煙すること。
- (4) 当ホテルが別に定める宿泊約款第 5 条に規定するもののうち、(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12) 及び (13) の各号のいずれかに該当するとき。
- (5) 館内に、次のようなものを持ち込むこと。
 - ① 犬(盲導犬等の介助犬を除く。)、猫、鳥類、虫類及び家畜類等の動物
 - ② 悪臭を発するもの
 - ③ 著しく多量な物品
 - ④ 火薬や揮発油等、爆発又は引火し易いもの
 - ⑤ 適法に所持を許可されていない鉄砲、刀剣類
- (6) 館内及び客室内で、とばく及び風紀を乱すような行為をすること。
- (7) 客室(但し、外来者用設備のある客室を除く。)内に外来者を招いて、客室内の諸設備、諸物品を使用すること。
- (8) 客室やロビーを事務所代わりに使用すること。
- (9) 館内及び客室内の諸設備、諸物品をその目的以外の用途に充てること。
- (10) ホテルの建築物や諸設備に異物を取り付けるなど、現状を変更するような加工をすること。
- (11) ホテルの外観を損なうような品物を窓に掛けること。
- (12) 他のご利用のお客様に、広告物等を配布し、又は配布しようとする事。
- (13) 廊下やロビーなどに所持品を放置すること。
- (14) ホテル外から飲食物の出前を取ること。
- (15) パブリックスペースにおける飲食又は当ホテルが指定する場所以外において喫煙をすること。

2 手続をお願いする事項

- (1) お支払いは、3日目毎に精算していただくようお願い致します。3日目以内でも、100,000 円を超えた場合、ホテルからの請求がありましたらお支払いいただくようお願いいたします。
- (2) ご予定宿泊日数をご変更いただく場合は、フロントに予めご連絡ください。
- (3) ご予定宿泊日数をご延長いただく場合は、延長以前のお勘定をお支払いください。
- (4) お預かりの洗濯物、クローゼットでのお預かり物やお忘れ物の保管は、特にご指定のない限り、その処置については法令にもとづくものとします。





User Regulations

Terms of Service

In the interests of maintaining the public character and safety of the Hotel, guests using the Hotel are required to fulfill and comply with the provisions of the Terms of Service, as stated in Article 10 of the separately prescribed General Terms and Conditions for Accommodation.

Those who fail to comply with these provisions will be denied use of the facilities and may be liable for any damage suffered by the Hotel.

Article 1. Prohibited Actions

1. Using guest rooms for purposes other than lodging, except as permitted by the Hotel.
2. Using fire for heating, cooking, and other purposes in the hallways and guest rooms.
3. Smoking in a manner or in a place that is likely to cause or contribute to a fire, such as a place with flammable items nearby.
4. Using the Hotel when any of items 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12 and 13 in Article 5 of the General Terms and Conditions for Accommodation separately stipulated by the Hotel apply.
5. Bringing the following into the Hotel:
 - a. Animals, including dogs (excluding service dogs, such as guide dogs), cats, birds, insects, and livestock
 - b. Items that emit a foul odor
 - c. A significantly large quantity of goods
 - d. Explosive or flammable materials such as gunpowder or gasoline
 - e. Guns and swords whose possession is not legally permitted
6. Engaging in gambling or any conduct that disturbs public morals in the Hotel or guest rooms.
7. Inviting visitors into a guest room (excluding guest rooms with facilities for visitors) and using its facilities and goods.
8. Using guest rooms or lobbies as offices.
9. Using facilities and items in the Hotel and guest rooms for purposes other than what they were originally intended for.
10. Actions that alter the current condition of the Hotel, such as attaching foreign objects to the Hotel's buildings or facilities.
11. Hanging items that detract from the appearance of the Hotel in windows.
12. Distributing or attempting to distribute advertising materials, etc. to other customers.
13. Leaving personal belongings in hallways or lobbies.
14. Receiving food or beverage deliveries from outside the Hotel.
15. Eating and drinking in public spaces or smoking in places other than those specified by the Hotel.

Article 2. Required Procedures for Payment and Items Received by the Hotel

1. Payment should be settled every third day of your stay. If the amount to be paid exceeds 100,000 yen, please pay when billed by the Hotel, even if the third day has not been reached yet.
2. To change the number of nights you will stay, please let us know in advance at the front desk.
3. If you wish to extend your stay, please pay the amount billed for your previously scheduled stay first.
4. Storage of received laundry, items left in the cloakroom, and lost and found items will be handled in accordance with the laws and regulations, unless otherwise specified.



- (5) 現金その他の貴重品は、フロント係にお申し出ください。お預かり物以外の物品の紛失につきましては、当ホテルは一切責任を負いかねます。
- (6) 予約のない場合、前日または当日予約及びご連絡先が携帯電話の場合は、お預り金をいただきます。

3 暴力団及び暴力団員並びに公共の秩序に反するおそれのある場合について

- (1) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成4年3月1日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等の当ホテルの利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします。)
- (2) 反社会的勢力及びその構成員(暴力団及び過激行動団体など並びにその構成員)の当ホテル利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします。)
- (3) 暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められる場合、直ちに当ホテルの利用はご遠慮いただきます。又、かつて、同様の行為をされた方についてもご遠慮いただきます。
- (4) 当ホテルを利用する方が心身耗弱、薬品、飲酒による自己喪失など、ご自身の安全確保が困難であったり、他のお客様に危険や恐怖感、不安感を及ぼすおそれがあると認められるときは、直ちにご利用をお断りいたします。
- (5) 館内及び客室内で大声、放歌及び喧騒な行為その他で他者に嫌悪感を与えたり、迷惑を及ぼしたり、又、賭博や公序良俗に反する行為のあった場合には、直ちにご利用をお断りいたします。その他上記各事項に類する行為のあるときは、ご利用をお断りいたします。



5. Please ask our staff at the front desk about storing cash and other valuables. The Hotel is not responsible for the loss of any items excluding those stored by us.
6. A deposit will be charged for stays with no prior reservation, reservations made the day before or on the day of your stay, or if a cell phone number is provided as contact information.

Article 3. Organized Crime Groups and Possible Threats to Public Order

1. Designated crime syndicates and members of designated crime syndicates, etc., as defined by the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (enforced on March 1, 1992), are not permitted to use this Hotel. If discovered after making a reservation or during your stay, you will be refused service.
2. Antisocial groups and their members (such as organized crime groups, radical groups, and members of such groups) are not permitted to use the Hotel. If discovered after making a reservation or during your stay, you will be refused service.
3. If you are found to be involved in violence, threats, extortion, intimidating and unreasonable demands, or similar acts, you will immediately be refused service. Those who have committed similar acts in the past will also be refused service.
4. If you are using the Hotel's services and are deemed to have difficulties ensuring your own safety due to your mental or physical condition, drug use, or loss of control due to alcohol consumption, or deemed to be a danger to other guests or cause fear or anxiety, you will immediately be refused service.
5. We will immediately refuse service if you cause distaste or inconvenience to others due to inappropriate conduct such as shouting, singing, being noisy, or engage in gambling or any other conduct that threatens public order and morals in the Hotel or guest rooms. We will also refuse service if you engage in any behavior similar to the actions listed above.





宿泊約款

【適用範囲】

第1条 当ホテルが、宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。

- 2 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

【宿泊契約の申込み】

第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

【宿泊契約の成立等】

第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。

- 4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

【申込金の支払いを要しないこととする特約】

第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

- 2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

【施設における感染症防止対策への協力の求め】

第4条の2 当ホテルは宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の既定による協力を求めることができます。

【宿泊契約締結の拒否】

第5条 当ホテルは、次に掲げる各号のいずれかに該当する場合には、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室により客室の余裕がないとき。
- (3) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (4) 宿泊に関し、暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。）第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。）。



- (5) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をし、又はその行為をするおそれがあるとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、暴行、脅迫、恐喝等のほか、暴力的要求行為、その他威圧的な不当要求行為をしたとき。
- (7) 宿泊しようとする者が、喧騒な行為のほか、危険、不安等を感じさせるなど、宿泊又は利用する他のお客様に迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (8) かつて当ホテルにおいて、本条(4)(5)(6)及び(7)の各号のいずれかに該当する行為をしたことがあるとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- (10) 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
- (11) 宿泊しようとする者が、心神喪失、心神耗弱、薬物類及び飲酒等による自己喪失等、本人の安全確保が困難であるとき。
- (12) 挙動不審と認められるとき、その他宿泊拒否に正当な事由があるとき。
- (13) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。

【 宿泊契約締結の拒否の説明 】

第5条の2 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めすることができます。

【 宿泊客の契約解除権 】

第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。

- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

【 当ホテルの契約解除権 】

第7条 当ホテルは、次に掲げる各号のいずれかに該当する場合には、宿泊契約を解除することができます。ただし、本項は、当ホテルが、旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊前、宿泊中を問わず、宿泊約款第5条に規定するもののうち、(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)及び(15)の各号のいずれかに該当するとき。
- (2) 客室での寝たばこ、消防用設備等に対する損壊や悪戯をしたとき、その他当ホテルが別に定める利用規則の禁止事項(但し、火災予防上必要なものに限る。)のいずれかに該当するとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

【 宿泊契約解除の説明 】

第7条の2 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めすることができます。

【 宿泊の登録 】

第8条 宿泊客は、宿泊の当日、次に掲げる事項を登録(記載)していただきます。なお、日本国内に住所を所有しない外国人にあっては、正確を期するため旅券の呈示を求めるとともに、日本政



府の指導により、当ホテルは、当該旅券を複写してこれを保存させていただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2) 日本国内に住所を所有しない外国人にあっては、上記(1)の事項のほか、国籍、旅券番号
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条に規定する料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとされるときは、それらを提示するとともに前項に掲げる登録を願います。

【客室の使用時間】

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から午前12時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
- (1) 超過3時間までは、正規客室料金の30%
 - (2) 超過6時間までは、正規客室料金の50%
 - (3) 超過6時間以上は、正規客室料金の全額

【利用規則の制定及び履行と遵守】

第10条 当ホテルは、利用規則を別に定めるものとし、宿泊しようとする者は、本宿泊約款とともに利用規則の規定を履行し、かつ遵守していただきます。

【営業時間】

第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等でご案内致します。

- (1) フロント・キャッシャー等サービス時間
イ、門限 なし
ロ、フロントサービス 24時間
ハ、エクスチェンジサービス 24時間

- 2 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適宜な方法をもってお知らせします。

【料金の支払い】

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテル

が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際は又は当ホテルが請求したとき、フロントにおいて行っていただきます。

- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

【当ホテルの責任】

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

- 2 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

【契約した客室の提供ができないときの取扱い】

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

【寄託物等の取扱い】

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは30万円を限度としてその損害を賠償します。

- 2 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについては、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

【 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管 】

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限り責任を持って保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。

- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられている場合は、その所有者からの連絡、指示により対処することとし、その他の処置については法令にもとづくものとします。
- 3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとします。

【 駐車 の 責任 】

第17条 宿泊客が当ホテルの駐車場又は、当ホテルの特約する駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

【 宿泊客の責任 】

第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

【 免責事項 】

第19条 当ホテル内におけるコンピューター（電子機器等）通信の利用にあたっては、宿泊客自身の責任にて行うこととし、コンピューター通信の利用中にシステム障害により利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。

【 支配する言語 】

第20条 この約款は、日本語で作成されたものを正文とします。この約款につき翻訳が作成される場合においても、日本語のみが約款としての効力を有するものとし、翻訳は何らの効力を有しないものとします。

【 裁判所管轄及び準拠法 】

第21条 この約款の準拠法は日本法とし、日本法によって解釈されます。この約款による宿泊契約及びこれに関する契約に関して生じる一切の紛争に

ついては、当ホテルの所在地を管轄する日本の地方裁判所第一審の専属的合意管轄裁判所として、裁判により解決するものとします。

別表第1 宿泊料金の内訳

(第2条第1項、及び第12条第1項関係)

内 訳		
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料【室料(又は室料+朝食料)】 ②サービス料(①×10%)
	追加料金	③飲食料【又は追加飲食(朝食以外の飲食料)】及びその他の利用料金 ④サービス料(③×10%)
	税金	⑤消費税 ⑥宿泊税

別表第2 違約金(第6条第2項関係)

契約申込人数 契約解除の 通知を受けた日	一般	団体	
	7名まで	8~99名	100名以上
不泊	100%	100%	100%
当日	80%	80%	100%
前日	20%	20%	80%
9日前		10%	20%
20日前			10%

- (注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。



Terms and Conditions for Accommodation Contracts

Article 1. Scope of Application

1. These Terms and Conditions shall govern any accommodation contracts or related agreements entered into between the Hotel and guests. Matters not provided for in these Terms and Conditions shall be governed by the laws and customs of Japan.
2. If the Hotel accepts a special contract that does not violate the laws and customs of Japan, the special contract shall be given precedence, notwithstanding the provisions of the preceding paragraph.

Article 2. Applications for an Accommodation Contract

1. Guests who wish to apply for an accommodation contract at the Hotel shall provide the following:
 - 1) Guest name(s)
 - 2) Date of stay and estimated time of arrival
 - 3) Accommodation fee (in principle, the basic accommodation fee will be charged as calculated in Table 1)
2. If, during their stay, a guest requests to continue to extend their stay beyond the date as specified in item 2 of the preceding paragraph, the Hotel shall, at the time of the request, treat it as a request to enter a new accommodation contract.

Article 3. Approval of the Accommodation Contract

1. The accommodation contract shall be approved when the Hotel accepts a request made as stipulated in the preceding Article. However, if the Hotel proves that it did not accept the request, the contract shall be deemed to be unapproved.
2. When an accommodation contract has been approved pursuant to the provisions of the preceding paragraph, the guest must pay the reservation fee stipulated by the Hotel, which is limited to the basic accommodation fee, during the stay (or, if the stay is more than three days, on the third day).
3. The reservation fee shall first be used for the final accommodation fee to be paid by the guest. If a situation as described in Articles 6 and 18 arises, the reservation fee will be used to pay the penalty and compensation, with the penalty taking precedence.

The remainder, if any, will be returned to the guest when payment is made as stipulated in Article 12.

4. In the event that the reservation fee stipulated in paragraph 2 is not paid by the date specified by the Hotel in accordance with the provisions of the same paragraph, the accommodation contract shall cease to be effective. However, this only applies the case that the Hotel has notified the guest of this in specifying the date for payment of the reservation fee.

Article 4. Special Contracts that do not Require a Reservation Fee

1. Notwithstanding the provisions of paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may agree to a special contract where payment of the reservation fee is not required after the contract is accepted.
2. When approving a request for an accommodation contract, in the event that the Hotel does not request payment for the reservation fee stipulated in Article 3, paragraph 2 or state the deadline for payment of the aforementioned reservation fee, it will be deemed as being part of a special contract as stated in the preceding paragraph.

Article 4-2. Cooperation with Measures to Prevent Infection

The Hotel may request cooperation from guests in accordance with Article 4-2, paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

Article 5. Refusal to Enter into an Accommodation Contract

If any of the following cases apply, the Hotel may choose not to accept an accommodation contract (however, this paragraph does not imply that an accommodation contract will be denied in cases other than those listed in Article 5-6 of the Hotel Business Act).

- 1) The request for accommodation is not in accordance with these Terms and Conditions
- 2) There are no rooms available due to full occupancy
- 3) It is not possible to accommodate guests due to natural disasters, trouble with the facilities, or other unavoidable reasons



- 4) A violent demand or requests of an unreasonable burden are made with regard to accommodation, excluding prospective guests who request societal inclusion pursuant to the provisions of Article 7, paragraph 2, or Article 8, paragraph 2 of the Act for Eliminating Discrimination against Persons with Disabilities (Act No. 65 of 2013)
- 5) The person who intends to stay at the Hotel violates the laws of Japan, public order or good morals, or is likely to commit such an act with regard to the accommodation
- 6) The person who intends to stay at the Hotel commits acts such as assault, threatening behavior, extortion, or other violent or intimidating acts
- 7) The guest uses language or behavior that is disruptive to other guests using the facilities, including noisy, dangerous, and worrying behavior
- 8) The guest has previously engaged in any of the acts listed in items 4, 5, 6, and 7 of this Article at the Hotel
- 9) It is found that the person who intends to stay falls under any of the following:
 - a) An organized crime group as stipulated in Article 2, item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991), a member of an organized crime group as stipulated in Article 2, item 1 of the aforementioned Act, an associate member of an organized crime group, a person related to an organized crime group, or a person engaged in other anti-social forces
 - b) A corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group
 - c) A corporation with an executive who is a member of an organized crime group
- 10) The person who intends to stay at the Hotel suffers an infectious disease as specified in Article 4-2, paragraph 1, item 2 of the Hotel Business Law
- 11) The person who intends to stay at the Hotel is unable to ensure their own safety due to insanity, mental deficiency, or loss of self-control due to

drugs, alcohol consumption, etc.

- 12) The guest is deemed to be behaving suspiciously, or when there are other justifiable reasons for refusing accommodation
- 13) When the person who intends to stay at the Hotel repeatedly makes a request that is burdensome to the extent that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Law

Article 5-2. Explanation for Refusal of an Accommodation Contract

In the event that the Hotel refuses to enter into an accommodation contract in accordance with the preceding Article, the person intending to stay may request that the Hotel explain the reasons for such a refusal.

Article 6. Guests' Right to Cancel the Contract

1. The guest may cancel the accommodation contract by making a request to the Hotel.
2. In the event that the guest cancels all or part of the accommodation contract due to reasons attributable to the guest (except in the event that the Hotel specifies the due date for payment of the application fee and requests payment thereof pursuant to Article 3, paragraph 2, and the guest cancels the accommodation contract prior to such payment), a penalty will be applied in accordance with the provisions listed in Table 2 of the Appendix. However, if the Hotel accepts a special contract as stipulated in Article 4, paragraph 1, the preceding paragraph shall only apply when the Hotel has informed the guest of the obligation to pay the penalty fee for cancelling the accommodation contract.
3. In the event that a guest does not arrive at the Hotel by 8:00 pm on the day of their (or two hours after the estimated time of arrival, if such time has been specified in advance) without informing the Hotel, the Hotel may consider the accommodation contract to have been cancelled by the guest and handle the case as such.



Article 7. The Hotel's Right to Cancel the Contract

1. The Hotel may cancel the accommodation contract in any of the following cases, which are limited to those stipulated in Article 5 of the Hotel Business Law:
 - 1) It is found that any of items 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14 or 15 as stipulated in Article 5 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts apply, regardless of if it is before or during the stay
 - 2) A guest smokes in bed, damages or tampers with firefighting equipment, or engages in any other prohibited acts as stipulated in the Hotel's Terms of Service (however, this is limited to acts necessary for fire prevention)
2. When the Hotel cancels the accommodation contract pursuant to the provisions of the preceding paragraph, the guest will not be charged for accommodation services that have not yet been provided.

Article 7-2. Explanation for Cancellation of the Accommodation Contract

In the event that the Hotel cancels the accommodation contract pursuant to the preceding Article, the guest may request an explanation of the reasons for the cancellation.

Article 8. Guest Registration

1. On the day of the stay, the guest shall register the following information.
 - 1) The guest's name, address and contact information
 - 2) In the case of a foreign national who does not have a domicile in Japan, nationality and passport number in addition to the information in the preceding item
 - 3) Other information deemed necessary by the Hotel
If the guest is a foreigner who does not have a residence in Japan, they shall be required to present their passport to ensure accuracy, and in accordance with the instructions of the Japanese government, the Hotel shall make and retain a photocopy of said passport.
2. When a guest intends to pay the charges stipulated in Article 12 with a traveler's check, hotel

voucher, credit card, or other means that can be used in place of currency, the guest shall present it and register their information as stipulated in the preceding paragraph.

Article 9. Occupancy Hours for Guest Rooms

1. A guest may occupy their guest room from 3:00 pm to 12:00 pm on the following day. However, if the guest stays consecutive nights, the guest may use the room for the entire day, excluding the day of arrival and the day of departure.
2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the Hotel may accept the use of a guest room outside the hours specified in the preceding paragraph. In such cases, the following additional charges shall apply:
 - 1) Up to 3 extra hours: 30% of the regular room rate
 - 2) Up to 6 extra hours: 50% of the regular room rate
 - 3) 6 or more hours: the full regular room rate

Article 10. Compliance with Terms of Service

The Hotel shall establish separate Terms of Service, and those who intend to stay at the Hotel shall be required to fulfill and comply with the provisions the Terms of Service in addition to the Terms and Conditions for Accommodation Contracts.

Article 11. Hours of Operation

1. The hours of operation of the main facilities of the Hotel shall be as follows, and detailed information on the hours of operation for other facilities shall be stated in pamphlets provided at the hotel, notices posted in various places, and in the service directory in the guest room.
 - 1) Curfew: N/A
 - 2) Front desk services: 24 hours
 - 3) Currency exchange: 24 hours
2. The hours in the preceding paragraph may be changed temporarily if necessary or unavoidable. In such cases, guests will be notified through appropriate means.



Article 12. Payment of Charges

1. The details for charges for accommodation and other services to be paid by the guest shall be as shown in Table 1 of the Appendix.
2. Payment of the charges for accommodation and other services as stipulated in the preceding paragraph shall be made at the front desk at the time of the guest's departure or when requested by the Hotel in Japanese currency or by a method acceptable to the Hotel that can be substituted for currency, such as a traveler's check, hotel voucher, or credit card.
3. The accommodation charges shall apply even if the guest chooses not to stay in the room after the Hotel has provided the room to the guest and made it available for use.

Article 13. Liability of the Hotel

1. In the event that the Hotel causes damage to a guest due to the compliance or non-compliance with the accommodation contract and related agreements, the Hotel shall compensate for such damage. However, this shall not apply when the damage is not due to reasons attributable to the Hotel.
2. The Hotel has hotel liability insurance to protect against fires that may occur.

Article 14. Response When a Contracted Guest Room Cannot be Provided

1. In the event that the Hotel is unable to provide the guest with the contracted room, the Hotel shall, with the consent of the guest, assist them to find other accommodation under the same conditions to the greatest extent possible.
2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, if the Hotel is unable to find other accommodation, it will pay the guest a compensation fee equivalent to the amount of the penalty fee, and the compensation fee will be applied to the amount of damages. However, no compensation shall be paid if there is no reason attributable to the Hotel for being unable to provide the guest room.

Article 15. Handling of Deposited Items

1. In the event of loss of or damage to items, cash, or valuables deposited by a guest at the front desk, the Hotel shall compensate for such damage, except in cases of force majeure. However, if the Hotel requires the guest to disclose the type and value of deposited cash or valuables and the guest fails to do so, the Hotel will compensate for the damage up to 300,000 yen.
2. In the event of loss or damage caused by an intentional or negligent act of the Hotel in regard to articles, cash or valuables brought into the Hotel by a guest but not deposited at the front desk, the Hotel shall compensate for such damage. However, if the type and value of the items are not specified by the guest in advance, the Hotel will compensate for the damage up to 150,000 yen.

Article 16. Storage of Guests' Baggage or Personal Belongings

1. In the event that a guest's baggage arrives at the Hotel prior to their stay, the Hotel shall store and assume responsibility for it only if the Hotel agrees to this prior to arrival, and it shall be handed over to the guest when they check in at the front desk.
2. In the event that a guest's baggage or personal belongings are accidentally left at the Hotel after the guest has checked out, the Hotel will take action in accordance with the owner's instructions. Any other measures will be taken in accordance with the law.
3. When Paragraph 1 of Article 16 applies, liability of the Hotel for the custody of the baggage or personal belongings shall be in accordance with Paragraph 1 of Article 15. When Paragraph 2 of Article 16 applies, liability of the Hotel for the custody of the baggage or personal belongings shall be in accordance with Paragraph 2 of Article 15.

Article 17. Liability of the Guest for Parking

When a guest uses the parking lot of the Hotel or a parking lot specially agreed upon by the Hotel, regardless of whether or not the key of the vehicle



is deposited, the Hotel is only lending the space and is not responsible for the management of the vehicle. However, the Hotel shall be liable to compensate for any damage caused by its willful misconduct or negligence in managing the parking lot.

Article 18. Liability of Guests

In the event that the Hotel suffers damages due to the intentional or negligent act of a guest, the guest shall compensate the Hotel for such damages.

**Article 19. Liability Regarding
Computer Communications**

Communications using computers (electronic devices, etc.) in the Hotel shall be carried out at the guest's own risk. The Hotel shall not be liable for any damage incurred by the user due to system failure during computer communications.

Article 20. Prevailing Language

These Terms and Conditions were originally written in Japanese. Even if translated into other languages, only the Japanese version is valid as the Terms and Conditions. Any translated versions shall not be valid.

Article 21. Court Jurisdiction and Governing Law

These Terms and Conditions are governed by and interpreted in accordance with Japanese law. All disputes that occur in regard to accommodation contracts or related agreements under these Terms and Conditions shall be resolved through a judgement in the first instance at the District Court with jurisdiction over the location of the Hotel, which shall have exclusive jurisdiction over such disputes.

Appendix

Table 1. Breakdown of Accommodation Fees (as referred to in Article 2, paragraph 1, and Article 12, paragraph 1)

	Details	
Total amount to be paid by guests	Accommodation fees	Basic accommodation fee (room charge OR room charge + breakfast fee) Service fee (Above fee × 10%)
	Additional fees	Other applicable fees, including food and drink fees OR additional food and drink fees (for extra food and drink excluding breakfast) Service fee (Above fee × 10%)
	Tax	Consumption tax Accommodation tax

Table 2. Penalties (as referred to in Article 6, paragraph 2)

		Number of guests		
		1-7	8-99	100 or more
Day of notification of contract cancellation	No show	100%	100%	100%
	Day of stay	80%	80%	100%
	1 day prior	20%	20%	80%
	9 days prior		10%	20%
	20 days prior			10%

Note:

1. Each percentage in the above table is the penalty rate to be applied to the basic accommodation fee.
2. If the number of days agreed upon in the original accommodation contract is reduced, a penalty amounting to one day's worth of fees (the first day) will be charged.

